

### 「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」①〜⑩

安彦良和作



角川コミックス

昭和44年生まれの私にとつて、「機動戦士ガンダム」と言えば、「フーストガンダム」シリーズです。小学校卒業直前に公開された劇場版三部作を食い入るように見ていました。

本書は、ガンダムシリーズの劇画版です。タイトルに「THE ORIGIN」が示すように、昔に見ていた「ガンダム」とほとんど変わらないストーリー展開で、さらに、テレビシリーズでは放映されていなかったサイドストーリーも描かれています。例えば、キヤスバがなぜ、シヤア・アズナルがなぜ、最初にガンダムを見た

ブルになったのか? その生い立ちから、「赤い彗星」になるまでの経緯。そもそもモビルスーツとは、どのように開発されたのか? ジオン軍と連邦軍の間の技術力にあればどの差ができたのか? そして、なぜ「ガンダム」というマシンを連邦軍が開発することができたのか。子供の頃に疑問に思いついたことも、解明するすべもなく時間が経っていた事柄が、次々に解き明かされていきます。まるで、本書が原作であったかのように。

最初にガンダムを見た

M T

まず、このタイトルに釘付けになりました。「ふふふ」です。本屋で平積みになった文庫が笑ってるとなす。そして、この表紙の見返りネコ。このイラストも「ふふふ」な表情。これはもう「読むしかない」。そう思って本を手に取り、レジンに並びました。どんな「ふふふ」なことが書いてあるんだらう。そう思いながらページをめくると、これは笑い事じゃあない。外交策についての話やプロ野球の経営についてのエッセイ。または、日本語の教育方法など。中でも印象的だったのは、外国の入試問題に関するエッセイ。アメリカのある大学の入試問題「あなたの一生涯を書きつづけたら二百七十ページ目にはどんなことが書いてあるか。二百七十ページを書きなさい」。これは、学校で習う授業や塾で習う知識の暗記では、絶対に解けない。問題を出す側も回答する側も、現代の日本人には思いもつかない試験問題なのではないでしょうか。

この本には45本のエッセイがまとめられていて、B Cのエイプリルフルの

### 「ふふふ」

井上ひさし著



講社文庫

エピソードのように「ふふふ」と笑えるものもあります。ですが、大半が日本という国の現状について、「もつとしっかりしろ!」と叱咤しているように感じました。そして、その怒りの分だけ作者は日本が好きで、日本人はすごいと思っっているんだと。ユーモアたっぷりのエッセイなのに、「もつと身体を鍛え、心を使え」と口酸っぱく言われているような気になりました。

三谷

## この本と私

読むことで

気付くこと

書くことで

判ることがある



### 「墮落論」

坂口 安吾著



集英社文庫

買った当初はあまり面白くなかったので読めなかったものを、十数年ぶりに読み進めることができました。表題の作品よりも、この中に収録されている「不良少年とキリスト」を読んだことが、著者は歯痛に悩まされた為八つ当たりで書いているようにも思えますが、自ら命を絶った太宰治に対しての悔しい気持ちを表した作品だと思えました。

三ヶ月前まで歯痛に苦しんでいた私は著者に共感しながらページを繰りました。歯痛の収まった著者の元に

### 「おたふく物語」

山本周五郎著



ハルキ文庫

表題が気に入って本を手に入れました。「妹の縁談」「湯治」「おたふく」の三部作と「凍てのあと」「おさん」あわせて五篇からなる。江戸の街、長屋住まいの人々の暮らしが日常会話のやりとりから見えてくる。しず女は長唄の出稽古を生業とし、妹とふた親との暮らしを支えている。不器量だから嫁に行くことにはない心を決めている様子。しず女の言葉で表せば「あたしは、のろでとんまなことがばかり、背は低く、肥っていて、自分がおたふくだったて事知ってるわ」。

行くて、力強く、しず女の行動と言葉に心熱くなり、しず女のイメージがしだいに美しい器量よしに変わってしまいました。又、しず女が突拍子もないときに使う比喩や洒落には言葉遊びの楽しさがあります。「おたふく」の最後には思わず涙ぐんで笑ってしまいました。日本人の「粋」の文化の原点は、江戸時代、職人氣質や庶民の暮らしを整える事があったのだろうか?

## ありがとうございます。皆様の声を励みにがんばっています!

手紙を書くのが好きなので、「なにわ人物誌」の出だしにハッ!としました。「言の葉、音と楽」の水色の書に惹かれます。御堂筋新聞の理念が掲げられていたところがいいな一と思いました。 女性 40代 事務員

「大人の社会見学」日清食品 インスタントラーメン発明記念館。ちょうどこの記事を読んでいたのがお昼前の時間だったため、すぐ食欲がそそられました。(笑) 今まで何度か予約して行こうと思ったのですが、予約が取れず諦めた経験もあり、今回の記事を読んで是非行きたい!と思いました。 女性 20代 会社員

たまたま友人に教えてもらい、読んだのですが、地元の新聞ということもあり楽しく拝見させていただきました。今後も継続して読みたいと思います。 男性 30代 会社員

常設設置場所をふやしてほしいです。 男性 30代 会社員

リニューアル前から大ファンで愛読していました。カラーページのエコスタイルすてきです。スタッフの方にも感謝したいです。たくさんの方に配布してこの誌の良さをPRしたいです。 女性 40代 主婦

### 皆様の声をお待ちしています

「大阪あんなとこ こんなとこ・曾根崎」何気なく行き来したところですが再確認いたしました。楽しく読ませていただきました。毎回 楽しみにしています。再発見ができます。 男性 60代 自営業



読者の皆様一人ひとりに手渡しでもお届けしています。

本当にこういう情報待っていました。大人も社会見学したいもの。でも、ごみ焼却場とかは、子供時代に体験するものだし・・・と悩んでいた矢先、掲載されていたので、とても嬉しかった。値段等、書いてあると参考になります。 女性 30代 会社員

廃刊になったのかと思っていたのでうれしいです。 女性 30代 会社員